



URI ダイヤリングの設定

- [URI ダイヤリングの概要, 1 ページ](#)
- [URI ダイヤリングの前提条件, 2 ページ](#)
- [URI ダイヤリング設定のタスク フロー, 3 ページ](#)

URI ダイヤリングの概要

Cisco Unified Communications Manager は、コールアドレッシングにディレクトリ URI を使用するダイヤリングをサポートしています。ディレクトリ URI は Uniform Resource Identifier、つまり、ディレクトリ番号を識別するために使用できる文字列です。ディレクトリ URI の形式は電子メールアドレスと同様 `username@host` の形式で、ホスト部分は IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名です。ディレクトリ番号を電話に割り当てると、Cisco Unified Communications Manager は、ディレクトリ URI を使用してその電話にコールをルーティングできます。URI ダイヤリングは、ディレクトリ URI をサポートする SIP および SCCP エンドポイントで使用できます。

ディレクトリ URI 形式

ディレクトリ URI は、@ 記号で区切られたユーザとホストアドレスで構成される英数字の文字列です。

Cisco Unified Communications Manager は次のディレクトリ URI の形式をサポートしています。

- `user@domain` (たとえば、`joe@cisco.com`)
- `user@ip_address` (たとえば、`joe@10.10.10.1`)

システムはディレクトリ URI のユーザ部分 (@ 記号の前の部分) では次の形式をサポートします。

- 使用可能な文字は、a-z、A-Z、0-9、!、\$、%、&、*、_、+、~、-、=、\、?、\、'、,、.、/ です。
- ユーザ部分は最大 47 文字までです。

- ディレクトリ URI がデータベースに保存されている場合、Cisco Unified Communications Manager は、次の文字にパーセント エンコーディングを自動的に適用します。

% ^ ` { } | \ : " < > [] \ ' およびスペース。



- (注) パーセントエンコーディングを適用すると、ディレクトリ URI の桁数が増えます。たとえば、ディレクトリ URI として joe smith#@cisco.com (20 文字) を入力した場合、Cisco Unified Communications Manager は、ディレクトリ URL を joe%20smith%23@cisco.com (24 文字) としてデータベースに保存します。データベースの制限により、[ディレクトリ URL (Directory URI)] フィールドの最大長は 254 文字となります。

Cisco Unified Communications Manager は、ディレクトリ URI のホスト部分 (@ 記号の後の部分) で次の形式をサポートしています。

- IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名をサポートします。
- 使用可能な文字は、英数字、ハイフン (-)、ドット (.) です。
- ホスト部分をハイフン (-) で開始または終了することはできません。
- ホスト部分に、連続した 2 つのドットを含めることはできません。
- ホスト部分の最短の長さは 2 文字です。
- ホスト部分では、大文字と小文字は区別されません。



- (注) [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] 内で、一括管理を使用して、二重引用符とカンマが埋め込まれたディレクトリ URI を含む CSV ファイルをインポートする場合は、ディレクトリ URI 全体を二重引用符 (") で囲む必要があります。

URI ダイヤリングの前提条件

URI ダイヤリングを設定する前に、ILS ネットワークを設定し、ILS ネットワークのグローバルダイヤルプランレプリケーションを有効にする必要があります。このタスクを実行するには、次のセクションを参照してください。

- [グローバルダイヤルプランレプリケーションのタスクフロー](#)
- [ILS 設定のタスクフロー](#)

URI ダイヤリング設定のタスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ディレクトリ URI をネットワーク内のローカルクラスタに割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザへのディレクトリ URI の割り当て, (4 ページ) • 電話番号とディレクトリ URI の関連付け, (4 ページ) 	エンドユーザをシステムにプロビジョニングし、ディレクトリ URI をそれらのエンドユーザに割り当てます。また、電話番号を設定し、ディレクトリ URI をその電話番号と関連付けます。 (注) エンドユーザの設定と電話番号の設定の両方で、一括管理を使用して、エンドユーザ、ディレクトリ URI、電話番号および電話を Cisco Unified Communications Manager にインポートすることもできます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド』 (http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html) を参照してください。
ステップ 2	デフォルトディレクトリ URI パーティションの割り当て, (5 ページ)	デフォルトのディレクトリ URI パーティションをコーリングサーチスペースにある既存のパーティションに割り当てます。
ステップ 3	URI ダイアルの SIP プロファイルの設定, (6 ページ)	SIP プロファイルを設定して、ネットワーク内のクラスタ間ダイヤリングを設定します。
ステップ 4	URI ダイアルの SIP トランクの設定, (7 ページ)	Cisco Unified Communications Manager が、発信 SIP メッセージに対して電話番号、ディレクトリ URI、または混合アドレスを挿入するかどうかを設定します。
ステップ 5	SIP ルート パターンの設定, (8 ページ)	クラスタ間ディレクトリ URI コールをルーティングするための SIP ルート パターンを設定します。
ステップ 6	ILS ネットワーク内の全クラスタについて手順 1 ~ 5 を繰り返します。	この手順は、ILS ネットワーク内に複数のクラスタがある場合に実行します。
ステップ 7	ディレクトリ URI カタログのインポート, (9 ページ)	(オプション) ディレクトリ URI コールを Cisco TelePresence Video Communication Server またはサードパーティコール制御システムに発信する場合は、その他のシステム用の CSV ファイルからのディレ

	コマンドまたはアクション	目的
		クトリ URI カタログを ILS ネットワーク内のハブ クラスタにインポートします。

ユーザへのディレクトリ URI の割り当て

エンドユーザにディレクトリ URI を割り当てるには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウで、検索条件を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** 表示された一覧からユーザを選択します。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [ディレクトリ URI (Directory URI)] フィールドで、このエンドユーザに関連付けるディレクトリ URI を入力します。ディレクトリ URI は電子メールアドレスのように、user@host の形式に従っています。
- (注) ディレクトリ URI を入力し、[プライマリエクステンション (Primary Extension)] フィールドに電話番号も入力した場合、このディレクトリ URI は自動的に、その電話番号に関連付けられたプライマリ ディレクトリ URI になります。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[電話番号とディレクトリ URI の関連付け, \(4 ページ\)](#)

関連トピック

[ディレクトリ URI 形式, \(1 ページ\)](#)

電話番号とディレクトリ URI の関連付け

電話番号とディレクトリ URI を関連付けるには、次の手順を実行します。ディレクトリ番号を電話に割り当てると、Cisco Unified Communications Manager では、ディレクトリ URI を使用してその電話にダイヤルできます。

はじめる前に

[ユーザへのディレクトリ URI の割り当て, \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2 フィルタ条件を指定し、[検索 (Find)] をクリックします。
 - ステップ 3 電話番号を関連付けるデバイスをクリックします。[電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 4 [関連付け (Association)] ペインで以下を実行します。
 - 既存の電話番号をクリックします。
 - 電話番号が設定されていない場合、[新しい DN を追加 (Add a new DN)] をクリックします。
 - ステップ 5 電話番号の設定 (Directory Number Configuration) ウィンドウで、[URI] テキストボックスにディレクトリ URI アドレスを入力します。
 - ステップ 6 [パーティション (Partition)] ドロップダウン リストから、ディレクトリ URI が属するパーティションを選択します。
ユーザが入力するディレクトリ URI は、選択したパーティション内で一意であることを確認します。URI へのアクセスを制限しない場合、パーティションに対して [なし (None)] を選択します。
 - ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[デフォルト ディレクトリ URI パーティションの割り当て, \(5 ページ\)](#)

デフォルト ディレクトリ URI パーティションの割り当て

デフォルト ディレクトリ URI パーティションを割り当てるには、次の手順を実行します。

はじめる前に

[電話番号とディレクトリ URI の関連付け, \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[システム (System)] > [エンタープライズ パラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。[エンタープライズ パラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [エンドユーザ パラメータ (End User Parameters)] エリアの [ディレクトリ URI エイリアス パーティション (Directory URI Alias Partition)] で、既存のコーリング サーチ スペースに含まれる既存のパーティションを選択します。
- ステップ 3** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

[URI ダイヤルの SIP プロファイルの設定, \(6 ページ\)](#)

URI ダイヤルの SIP プロファイルの設定

はじめる前に

[デフォルト ディレクトリ URI パーティションの割り当て, \(5 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [SIP プロファイル (SIP Profile)] を選択します。[SIP プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Profiles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。既存の SIP プロファイルのリストが表示されます。
- ステップ 3** 表示する SIP プロファイルを選択します。[SIP プロファイルの設定 (SIP Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [ダイヤル文字列の解釈 (Dial String Interpretation)] ドロップダウンリストから、次のいずれかのオプションを選択します。
- [常にすべてのダイヤル文字列をURIアドレスとして処理 (Always treat all dial strings as URI addresses)] : URI アドレスを着信コールのアドレスとして処理するには、このオプションを選択します。
 - [電話番号は 0 ~ 9、A ~ D、*、#、+ で構成 (これ以外はURIアドレスとして処理) (Phone number consists of characters 0-9, A-D, *, and + (others treated as URI addresses))] : SIP ID ヘッダーのユーザ部分のすべての文字がこの範囲に含まれる場合は、このオプションを選択して、着信コールを電話番号として扱います。アドレスのユーザ部分で、この範囲外の文字を使用している場合は、アドレスは URI として扱われます。

- [電話番号は 0 ～ 9、*、#、+ で構成（これ以外は URI アドレスとして処理）（Phone number consists of characters 0-9, *, and + (others treated as URI addresses)）] : SIP ID ヘッダーのユーザ部分のすべての文字がこの範囲に含まれる場合は、このオプションを選択して、着信コールを電話番号として扱います。アドレスのユーザ部分で、この範囲外の文字を使用している場合は、アドレスは URI として扱われます。

ステップ 5 ネットワーク内のすべての SIP プロファイルの [SIP 要求で完全修飾ドメイン名を使用（Use Fully Qualified Domain Name in SIP Requests）] チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 [設定の適用（Apply Config）] をクリックします。

次の作業

[URI ダイアルの SIP トランクの設定, \(7 ページ\)](#)

URI ダイアルの SIP トランクの設定

ネットワークの SIP トランクを確認して、Cisco Unified Communications Manager で電話番号、ディレクトリ URI、またはディレクトリ番号とディレクトリ URI の両方を含むアドレスが、発信 SIP メッセージの SIP ID ヘッダーに挿入されるかどうかを確認します。

はじめる前に

[URI ダイアルの SIP プロファイルの設定, \(6 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] で、[デバイス（Device）] > [トランク（Trunk）] を選択します。[トランクの検索と一覧表示（Find and List Trunks）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 詳細な検索条件を入力し、[検索（Find）] をクリックします。[トランクの設定の検索と一覧表示（Find and List Trunks）] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [発信コール（Outbound Calls）] 領域で、[発呼側および接続側情報形式（Calling and Connected Party Info Format）] ドロップダウンリストから、以下のいずれかを選択します。

- [接続側にのみ DN を配信（Deliver DN only in connected party）] : Cisco Unified Communications Manager は、発信 SIP メッセージで、発信者の電話番号を SIP 連絡先ヘッダー情報に挿入します。これがデフォルトの設定です。
- [接続側にのみ DN を配信（使用可能な場合）（Deliver URI only in connected party, if available）] : Cisco Unified Communications Manager は、発信 SIP メッセージで、発信者のディレクトリ URI を SIP 連絡先ヘッダーに挿入します。ディレクトリ URI が使用できない場合、Cisco Unified Communications Manager は電話番号を挿入します。

- [接続側にのみURIおよびDNを配信（使用可能な場合）（Deliver URI and DN in connected party, if available）]：Cisco Unified Communications Manager は、発信 SIP メッセージで、発信者のディレクトリ URI および電話番号を SIP 連絡先ヘッダーに挿入します。ディレクトリ URI が使用できない場合、Cisco Unified Communications Manager は電話番号のみを追加します。

ステップ 4 [保存（Save）] をクリックします。

次の作業

[SIP ルート パターンの設定, \(8 ページ\)](#)

SIP ルート パターンの設定

クラスタ間のディレクトリ URI コールをルーティングするには SIP ルート パターンを設定する必要があります。

SIP ルート パターンを設定するには、次の手順に従います。

はじめる前に

[URI ダイアルの SIP トランクの設定, \(7 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[コール ルーティング（Call Routing）]>[SIP ルート パターン（SIP Route Pattern）] を選択します。

ステップ 2 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しい SIP ルート パターンを追加するには、[新規追加（Add New）] ボタンをクリックします。
- 既存の SIP ルート パターンの設定を変更するには、検索条件を入力して [検索（Find）] をクリックし、結果のリストから SIP ルート パターンを選択します。

ステップ 3 [SIP ルート パターンの設定（SIP Route Pattern Configuration）] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 4 [保存（Save）] をクリックします。

次の作業

(オプション) [ディレクトリ URI カタログのインポート, \(9 ページ\)](#)

ディレクトリ URI カタログのインポート

Cisco Unified Communications Manager により、グローバルダイヤルプランを CSV ファイルから ILS ネットワークのハブ クラスタにインポートできます。ILS はインポートしたグローバルダイヤルプランのデータを ILS ネットワーク全体に複製して、Cisco Unified Communications Manager が Cisco TelePresence Video Communications Server や サードパーティ コール制御システムと相互運用できるようにします。

(オプション) ディレクトリ URI カタログをインポートするには、次の手順に従ってください。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理から、[コールルーティング (Call Routing)] > [グローバルダイヤルプランレプリケーション (Global Dial Plan Replication)] > [グローバルダイヤルプランレプリケーション (Imported Global Dial Plan Catalog)] を選択します。
- ステップ 2** [インポートしたグローバルダイヤルプランカタログの検索とリスト (Find and List Imported Global Dial Plan Catalogs)] ウィンドウで、次のいずれかのタスクを実行します。
 - 既存のダイヤルプランカタログの設定を変更するには、[検索 (Search)] をクリックし、結果リストから既存のカタログを選択します。
 - 新しいカタログを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [インポートしたグローバルダイヤルプランカタログ (Imported Global Dial Plan Catalog Settings)] ウィンドウの [名前 (Name)] フィールドに、インポートするカタログを識別する一意の名前を入力します。
- ステップ 4** (オプション) [説明 (Description)] フィールドに、カタログの説明を入力します。
- ステップ 5** [ルート文字列 (Route String)] フィールドに、カタログをインポートしているシステムのルート文字列を作成します。
ルート文字列は最大 250 文字長の英数字であり、ドットおよびダッシュを含めることができます。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ファイルのアップロード/ダウンロード (Upload/Download Files)] を選択します。
- ステップ 8** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 9** [参照 (Browse)] をクリックして、インポートするカタログの CSV ファイルを選択します。インポートに使用する CSV ファイルが Cisco Unified Communications Manager と互換性があることを確認します。たとえば、バージョン 9.0(1) へのインポートをサポートする CSV ファイルは、バージョン 10.0(1) とは互換性がありません。

- ステップ 10** [ターゲットを選択 (Select the Target)] ドロップダウンリストで、[インポートしたディレクトリ URL とパターン (Imported Directory URIs and Patterns)] を選択します。
- ステップ 11** [トランザクションタイプを選択 (Select Transaction Type)] ドロップダウンリストで、[インポートしたディレクトリ URL とパターンを挿入 (Insert Imported Directory URIs and Patterns)] を選択します。
- ステップ 12** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 13** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[一括管理 (Bulk Administration)] > [ディレクトリ URL とパターン (Directory URIs and Patterns)] > [インポートしたディレクトリ URL とパターンを挿入 (Insert Imported Directory URIs and Patterns)] を選択します。
- ステップ 14** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウンリストで、インポートするカタログを含む CSV ファイルを選択します。
- ステップ 15** [インポートしたディレクトリ URI カタログ (Imported Directory URI Catalog)] ドロップダウンリストで、[インポートしたグローバルダイヤルプランカタログ (Imported Global Dial Plan Catalog)] ウィンドウで名前を付けたカタログを選択します。
- ステップ 16** [ジョブの説明 (Description)] テキストボックスで、実行するジョブの名前を入力します。
- ステップ 17** 次のいずれかの手順を実行します。
- ジョブをただちに実行する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプションを選択し、[送信 (Submit)] をクリックします。
 - 所定の時刻に実行するようにジョブをスケジュールするには、[後で実行 (Run Later)] ラジオ ボタンをオンにして、[送信 (Submit)] をクリックします。

[後で実行 (Run Later)] オプションを選択した場合は、ジョブの実行時刻をスケジュールするのに、一括管理ジョブ スケジューラーを使用する必要があります。

Cisco Unified Communications Manager は、インポートしたすべての +E.164 パターンを、グローバルな学習された +E.164 パターン パーティションに保存します。
